

新年のご挨拶

(令和7年)



建設業労働災害防止協会
会長 今井 雅 則

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、平素より当協会の事業活動につきまして、特段のご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、建設業は、地域のインフラ整備や経済活動を支える施設づくりなど夢のある産業です。また、災害時には復旧復興工事の担い手として、国民生活、社会経済を支えるという重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、技術者、技能者の慢性的な不足、若手入職者の減少及び高齢化の進展など、建設業を取り巻く環境は厳しく、働き方改革の推進など様々な取り組みを進めています。

一方、建設業における労働災害は関係各位の地道なご努力により、長期的には減少傾向にありますが、死亡災害については昨年は一昨年より増加する傾向にあり、非常に憂慮すべき状況にあります。

建設業が憧れの産業として、今後も安定的に発展するためにも、建設工事に従事する全ての方々が安全で安心して働くことのできる魅力ある職場環境づくりはますます重要となってきます。当協会としまして、一昨年に令和5年度から令和9年度を計画期間とする「第9次建設業労働災害防止5か年計画」を策定しました。その中間年に当たる本年もこの第9次計画の目標の達成を目指し、リスクアセスメントの確実な実施の推進、建設業労働安全衛生マネジメントシステム「コスモス」の導入促進、メンタルヘルス対策や化学物質管理への支援、さらに各種安全衛生教育などの活動に積極的に取り組むこととしております。

当協会は昨年創立 60 周年を無事迎えることができました。今後も変わることなく労働災害ゼロを目指し、当協会は実効ある活動を積極的に展開していく所存ですので、本年も皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご発展を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。